

株式会社
パステルラボ
代表取締役
伊藤 数子



【PROFILE】

- 1985年 新潟大学工学部卒業
- 1991年 (株)パステルラボ設立
- 1999年 東京オフィス開設
- 好きな言葉 志

会社DATA

【設立】 1991年4月

【資本金】 1000万円

【従業員数】 31名

【売上高】 3億2000万円
(2007年8月期)

【所在地】 石川県金沢市西都 1-54

【事業内容】 地域に関する調査／人材育成の総合企画・実施、セミナー・研修等の企画・実施／運営／イベントの企画・運営／商業施設の総合企画／ヒューマンネットワークのコーディネート

コミュニケーションをテーマに さまざまな立場の人が 生活しやすい環境やシステムを作る

Top's Interview
【トップインタビュー】

◆「コミュニケーションをテーマにさまざまな事業を展開」
事業を立ち上げたのは、前職の映像制作という仕事を通して、人に何かを伝えるには、その根幹に関わらなければならぬと感じたからです。そして、会社や人の深い所まで関わった仕事をしたいと思うようになりました。

当社を一言で説明すると、コミュニケーションをテーマにしていく企画会社です。例えば、地域の方とコミュニケーションを図れるような会社のショールームを作るとしましょう。完成したらオンラインイベントを開催、そこで働くスタッフの制服を製作、と仕

事がどんどん広がり、社員研修や教育にまでも発展していきます。そう考えると、私たちの仕事には、決められた終着点がないといえます。だからきつと仕事が面白いし、さまざまなことに挑戦したくなるのだと思います。

◆「卓越したコミュニケーション能力の発揮」が社内の合言葉

携帯電話をはじめ、メール、ブログなど、コミュニケーションの手段が多様化しています。しかし最近、コミュニケーションの手段を上手に選べない人が増えているような気がします。仕事でトラブルが生じて謝罪が必要になった時、

どんなに丁寧な内容のメールを送るより、すぐに足を運び、直接会って謝罪するのがベスト。

コミュニケーションは、相手の立場を考慮し、的確な方法を選ぶことが大切。社内では「卓越したコミュニケーション能力を有し、それを発揮しよう」と目標を掲げています。コミュニケーションサポートを事業とするからこそ、そうありたいと考えています。

ビジネスにおいても、生活においても、コミュニケーションをより豊かに、と誰もが考えるようになりました。自分から用事がある時にだけではなく「誰が自分に用事があるだろうか」を想定し、その相手に対して先にアクションを起こすようにしたいものです。

◆「障害者スポーツの普及などユニバーサルな取組みも実践」

当社は「ユニバーサルコミュニケーション」という考え方に基づき、老若男女、障害者、健常者、国や地域を問わず、さまざまな立場の人が生活しやすい環境やシステムを作るためのコミュニケーションサポートに取り組んでいます。発想の原点は、2003年の電動いすサッカー全国大会で、携

帯テレビ電話によるモバイル中継（モバチュウ）を始めたこと。翌年から公式中継という形で行われ、2006年には電動車いすバスケット大会でも採用されています。2007年10月に開催された電動車いすサッカーのワールドカップでは世界20カ国で中継されました。たくさんの方の障害者の方に観戦していただいて、スポーツは観るだけでなくプレイするものというアピールができたと思います。これを機に世界規模での障害者スポーツの普及を、改めて強い気持ちで目指そうと思えました。2012年のパラリンピックへの参加も大きな取組みになると思います。2007年7月には障害者スポーツの総合サイト（アスリートビレッジ）をオープンし、きめ細かなサービスを提供して、障害者スポーツの拡大を目指します。また、大学で障害者スポーツをテーマにした授業に取り組むなど、アプローチの幅を広げています。

さらに、養護学校の年間行事のモバイル中継を行い、外出が困難な生徒も携帯電話を通して行事に参加できるようにしました。

今後は、企業のCSR（社会貢献）活動をバックアップする事業

にも力を入れたいです。これまでの経験で得られたノウハウを応用し、社会と企業とのコミュニケーション活動をCSRという視点でお手伝いできたら、と思います。

◆「会社をどんどん活用しやりたいことを実現してほしい」

会社の基礎を固めるには、やはり人材が大切。「元気でよく笑う人」がいいですね。自分のやりたいことに取り組んでいる人や、やりたいことを探している人は元気がだからよく笑う。エネルギーを与えてくれるような人と一緒に仕事を楽してみたいと思います。

新入社員には、まず「挨拶を明るくしつかり」と。実際、きちんとできる人が少ないんです。そしてどんどん現場に出て行って、動きながら考えてほしい。現場は宝の山。失敗を恐れず勇気を出して動いてください。また、スタッフには「会社はやりたいことを実現する場所。それを実現するために、会社をどんどん活用してください。手伝ってくれる仲間がいるし、あなたも仲間へのお手伝いをお願いします」と話しています。

当社に興味のある方は、いつでもお会いしたいですね。